

28 危険物施設

【関連章第 7 章 12】

事例 1 「無届の指定可燃物貯蔵取扱所である作業場から出火した火災」

出火時分 5 月 3 時ごろ

用 途 等 作業場 その他 1/0 延 1,000 m²

被害状況 建物全焼 1 棟 800 m²、立木 40 本焼損

概 要

この火災は、作業場の 1 階から出火したものです。

出火原因は、破碎機内に入り込んだ金属等と破碎刃が接触した際に生じた火花が可燃物に着火し無炎燃焼が継続した後に出火したものです。

作業場の近隣住民が自宅にいたところ、作業場から煙が出ているのを発見しました。火災を発見した近隣住民は同居する家族に火災を知らせ、火災を知らされた家族は自身の携帯電話で 119 番通報しました。

教 訓 等

この火災は、無届で定める数量以上の指定可燃物を扱っている作業場で発生しました。消防法上の危険物や指定可燃物に該当する品名・数量を取り扱う施設では、火災が発生した場合に延焼が拡大したり、深刻な被害が発生する場合があります。

指定可燃物貯蔵取扱所の危険性及び出火防止に配慮した維持管理を徹底し、日頃から火気の取扱いには十分注意し事故防止に努めることが重要です。



写真 28-1 作業場内の延焼状況



写真 28-2 破碎機の焼損状況